

令和 7年度

事務事業評価表（ 令和 6年度 の実績評価）

記入年月日  
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		子ども議会開催事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020101001012
		総合計画の施策名					単独/補助	単独	所属課	090101 学校教育課
政策体系	政策名	02	2021 学校教育の充実			学校長名				
	施策名	01	生きがいを育む学びのまちづくり			グループ				
	手段名	01	学校教育の充実			担当者名				
	手段名	01	①教育内容の充実			総務グループ				
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	01	02	02	00	事務局事業			
法令根拠						単年度繰返し（平成20年度～）				
					☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像） 子どもたちの体験学習の一環として、市内小中学校、義務教育学校の児童生徒を対象として、市内のライオンズクラブ（以下「LC」）の協力のもと、年1回開催している事業である。目的は、「社会科の体験学習の一環として議会や行政の仕組みについて学ぶこと」「自分たちの住むまちを知るとともに、市民としての自覚を深める」「将来の市の担い手である子供たちの夢や提言を市や市民に伝える」などである。 主催は、市、市教育委員会、共催が市議会と市内LCとなる。議員は、各学校の該当する学年の各クラスから1名選任され、議長も児童生徒が行う。質問は選任された議員から通告制とし、答弁は、通常の議会と同様に、行政側の市長を含めた幹部職員が行う。令和5年度より中学生で生徒会役員の生徒を議員とした体制に変更。 ※事業費は持になし（LCより子ども議員に記念品と弁当の提供あり）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 業務の手順 ・学校長会へ子ども議会の趣旨の説明と協力依頼。 ・定例庁議において議会開催要領及び日程説明と協力依頼。 ・各LCへ協力依頼。 ・各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼。 ・質問事項の調整を図り学校へ連絡、答弁書のとりまとめ。 ・子ども議会議長との打ち合わせを行い議会開催。 ・議会終了後、回答書の作成。参加校への送付。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	05年度 （実績）	06年度 （実績）	07年度 （計画）	08年度 （目標）	09年度 （目標）
・学校への趣旨の説明と各LCへ協力依頼。 ・各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼。 ・質問事項の調整を図り学校へ連絡、答弁書のとりまとめ。 ・子ども議会議長との打ち合わせを行い議会開催。	市内中学校数	校	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00
	義務教育学校数	校	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	05年度 （実績）	06年度 （実績）	07年度 （計画）	08年度 （目標）	09年度 （目標）
各中学校・義務教育学校の生徒	中学校・義務教育学校 生徒数	人	894.00	871.00	835.00	837.00	837.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	05年度 （実績）	06年度 （実績）	07年度 （計画）	08年度 （目標）	09年度 （目標）
議会や行政の仕組みを学ぶとともに、自分たちの住むまち（桜川市）を知ってもらう。	参加し、学んだ児生徒数	人	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	0		
			事業費計（A）	千円	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績（千円）				07年度事業費 予算（千円）			
		合計		0			合計	0

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容 学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合わせを行い議会開催。 議会後は、回答書の作成及び送付	08年度の事業内容 学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合わせを行い議会開催。 議会後は、回答書の作成及び送付	09年度の事業内容 学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合わせを行い議会開催。 議会後は、回答書の作成及び送付
-----------------	--	--	--

	議云後は、回答書の作成及び送信。	議云後は、回答書の作成及び送信。	議云後は、回答書の作成及び送信。
事務事業名	子ども議会開催事業	事務事業No.	20101001012
		所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ライオンスクラブの事業として、合併前より各町村で行っていたが、合併後においては平成20年度から再開された。合併当初は中学校生徒が対象であったが、平成26年度は、児童生徒が対象、平成27年度からは児童のみが対象となっている。</li> <li>令和2年度から令和4年度まではコロナ禍により実施していなかったが、令和5年度に生徒を対象として実施した。</li> </ul>			
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？			
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からは特になし。</li> </ul>			

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>議会や行政の仕組みについて学ぶことは、学校教育の充実教育内容の充実に結びつく。</li> </ul>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に住んでいるまちを知ってもらうことは、市が行うこととして妥当である。</li> </ul>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数や回数を増やすことで、体験者を増やせることはできるが、時間等に制限があるので難しい。</li> </ul>
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>体験者が毎年増えることで、議会や行政に興味を持ってもらえる人が増えることから、廃止することは影響があるかもしれない。</li> </ul>
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>類似する事業が見当たらない。</li> </ul>
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費の支出は特になく、ライオンスクラブの協力を得ている。</li> </ul>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>市内のすべての学校が対象であるので特に偏ってはいない。負担金もない。</li> </ul>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・時期として夏休み期間であり小学生には最良であると思われる。中学生においては、部活動や受験勉強に影響が出ることから、今後も参加は難しい。令和2年度から令和4年度はコロナ禍を考慮し未開催。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認